



ロータリー:
変化をもたらす

国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ会報



THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

■創立■ 1964年3月2日 ■例会日■ 毎・金曜日12時30分 ■例会場■ オークラ千葉ホテル
■会長■ 向後 保雄 ■幹事■ 水野 浩利 ■会報委員長■ 酒井 秀大
■事務局■ 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2017-18年度

第2603回

平成29年9月29日(金)点鐘12:30 《晴れ》

- ◆ロータリーソング『それでこそロータリー』
- ◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
 1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

◆お客様紹介

◇本日のゲストスピーカー / 砺波 由利子様

◆会長挨拶及び報告 代・伊藤 和夫パスト会長

皆さんこんにちは。

今日は後程紙芝居があるので楽しみにしております。先ほど、ニコニコでも紹介されましたが、当クラブのロータリーの職業分類番号の1は、農業です。みなさんご存知でしたか？お陰様で江沢会員には稲を手狩りして頂いて非常に助かりました。ロータリー精神でお昼ご飯だけのおもてなしでしたが、8日間くらい来ていただいてお手伝いをして頂きました。

さて、今日は一冊本を紹介しようと思っております。この本では、病気の9割は、歩くだけで治る、健康には歩くのが一番だということが書いてあります。肩こりも歩くことによって治るということです。20～30分間歩いていくと、発行して新陳代謝が活発になります。風邪をひいても軽く汗を流して良くなっていくということです。

スキーのストックをポールに仕立てて両手をつきながら正しく歩くことでリズムもとれ、健康になっていくようです。また、認知症を防ぐ意味でも、老夫婦が会話をしながら歩くことは効果的です。あるいは、歩きながら簡単な足し算や引き算をしながら歩くとさらに良いということです。歩行は脳を刺激します。脳が変われば人生も変わってくるのではないのでしょうか…。江戸時代の人は、実に1日に3万歩も歩いていたそうです。



◆認証状伝達

地区RLI実行委員会委員 三神 秀樹会員

◆幹事報告

水野 浩利幹事

1. 「千葉のまちの礎を築いた千葉氏の歴史を知る・深める」のプロジェクト委員会を本日、6時30分より、すし波奈にて行います。
2. 米山豆辞典を皆様のテーブルにお配りしております。本年度は、米山財団設立50周年にあたります。よくご覧になっていただき、多くの方のご寄付をお願いしたいと思います。

※ロータリー米山記念奨学会は2017年7月、財団設立50周年を迎えます。

1952年に東京ロータリークラブが始めたこの事業は、またたく間に日本全国へ広がり、1957年には財団法人設置を前提とする全国組織、「ロータリー米山奨学委員会」が結成されました。1967年には悲願の財団法人となり、以来50年、日本のロータリーや学友が思いをつないでいます。財団法人設立当時、年間 59人だった奨学生数は、今では約 800人、累計では19,808人となりました。「平和日本を世界へ」。当初のロータリアンたちの願いは、半世紀の時を経て少しずつ花となり、実となっているのではないのでしょうか。((財)ロータリー米山記念奨学会資料)

◆ニコニコボックス報告

《向後 保雄会長・水野 浩利幹事》

本日は、ゲストスピーカーとして砺波由利子様をお招きし、「千葉常胤氏の歴史」という演題で、卓話をしていただきます。その中で、酒井秀大社会奉仕委員長がリーダーを務めます「千葉常胤公の紙芝居プロジェクト」の参考となる紙芝居の披露もしていただけるということです。どうぞ宜しくお願い致します。

《伊藤 和夫会員》

皆さんこんにちは！
今年も新米が出来上がりました。8月の台風5号、9月の台風18号にもめげず、秋の収穫ができました。ご家族の皆さんへプレゼント致します。楽しいお食事が出来れば

幸いです。江沢一男会員には稲刈りに当たり、大変お世話になりました。

《齋藤 昌雄会員》

「第14回韓日親善会議」に出席してまいりました。参加された、吉田会員、早野会員、出井会員、杉本会員、廻会員、有難うございました。

本日のニコニコボックス	6,000 円	累計	102,000 円
金の箱	300 円	累計	3,066 円

◆出席報告 (会員数48名)

出席者数	欠席者数	ビシター	9/15 修正出席率
33名	15名	1名	72.92 %

千葉市内例会変更のご案内 [メニュー](#) [キャップ](#)にご利用下さい。

千葉RC	月	10/30	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	10/10	センシティタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	10/24	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	10/18	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水	10/25	ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	10/12	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	10/19・10/26	京成ホテルミラマーレ

本日の卓話 (紙芝居)



演 題⇒「千葉常胤公物語
～紙芝居を演じるには～」
卓話者⇒ 紙芝居 ist 砺波 由利子様

紙芝居は、絵本と違って「紙芝居を読む」ではなく、「紙芝居を演じる」と言います。ヘンな声色を使う必要は全くありませんが、登場人物の気持ちになって、セリフを言う必要はあります。そのためにも、必ず下読みはしてください。

また、紙芝居は、「めくる」ではなく、「ぬく」と言います。適当に次のページに移っては、せっかくの効果が台無しです。そのためにも、手で持たず、必ず紙芝居舞台(枠)を使ってください。



紙芝居舞台を使うと、観る人のワクワク感が高まり、驚くほど集中してくれます。

紙芝居を演じるときは、舞台の横に立って演じて下さい。後ろに文字はありますが、紙芝居の後ろに隠れてしまってはダメです。なぜならば、紙芝居の一番の魅力は、演じ手とお客さんとの、双方向のコミュニケーションだからです。お客さんの反応を感じながら、話を進めていってください。絵を指でさして理解を促すものもあります。

紙芝居は、日本発祥のものです。紙芝居は、今や世界に誇るクールジャパンの代表であるマンガやアニメーションのもとになっています。

どうぞ、この紙芝居を使って、子供たちといっしょに楽しんでください。(原稿:砺波由利子様より)



※千葉南ロータリークラブでは、「千葉のまちの礎を築いた千葉氏の歴史を知り、広める」というプロジェクトを立ち上げ、千葉市が発行している書籍「千葉常胤公ものがたり」と、その紙芝居を千葉市内の小学校へ寄贈し、同時に寄贈した紙芝居の上演を行うことになりました。

それにより、「千葉」のまちの名称、まちが形成されたきっかけ、そのきっかけを作った歴史上の人物「千葉常胤公に対する理解を深め、同氏が活躍したころの歴史を知ってもらい、小学生や地域住民が千葉市に対する愛着、帰属意識を持つきっかけになることを期待したいと思います。

第2604回例会

日時⇒ 平成29年10月6日(金) 点鐘12:30
卓話⇒ 新会員卓話 吉田 与一郎会員

第2605回例会

日時⇒ 平成29年10月13日(金) 点鐘12:30
卓話⇒ 『驚異の経済発展国シンガポール』
シンガポール紹介 前会長 鈴木 貞男様